

大和市文化創造拠点指定管理者の指定について

大和市文化創造拠点に係る指定管理者の指定等に関する条例に基づき設置された、大和市文化創造拠点運営審議会によって指定管理者の候補者が選定され、平成27年1月7日付で選定審査報告書が市に提出されました。

市長及び教育委員会は、報告書の内容を受け候補者を決定し、3月市議会に指定管理者の指定についての議案を上程します。

1. 大和市文化創造拠点運営審議会による選定

○ 文化創造拠点運営審議会

- 委員(6名) 美山 良夫 (会長/慶應義塾大学名誉教授)
 宮原 志津子 (職務代理/相模女子大学学芸学部専任講師)
 齋藤 正果 (大和市社会教育委員)
 佐川 博之 (大和市子ども・子育て会議委員)
 服部 直子 (大和市文化芸術振興審議会委員)
 三浦 徹朗 (公募委員)
 外部アドバイザー(1名) 碓井 敦子 (公認会計士)

○ 選定経過

日程	内容
平成26年9月 2日(火)	第1回審議会:施設概要の説明
9月29日(月)	第2回審議会:公募資料の検討
10月 3日(金)~11月25日(火)	指定管理者の募集
10月14日(火)	応募者向け説明会
10月15日(水)~10月29日(水)	応募者からの質問受付
11月26日(水)~12月10日(水)	外部アドバイザーによる財務審査
12月 8日(月)	第3回審議会:応募者の面接審査
12月22日(月)	第4回審議会:候補者の決定

○ 審査結果

項目	順位	第1位(候補者)	第2位	第3位
共同事業体名		やまとみらい	やまと文化創造 推進企業体	やまと文化創造 パートナーズ
代表団体		(株)図書館流通センター	相鉄企業(株)	(株)JT コミュニケーションズ
構成団体		サントリーパブリシティサービス(株) (株)小学館集英社プロダクション 横浜ビルシステム(株) (株)ポーネルド (株)明日香	(株)有隣堂 (株)神奈川共立 (株)tvkコミュニケーションズ	(株)ヴィアックス (公財)横浜YMCA (株)ハリマビシステム (株)総合舞台サービス
審査での得点		2,787 点	2,659 点	2,448 点

※ 代表及び構成団体の財務状況については、外部アドバイザーの審査により、全ての応募者が指定管理者としての業務遂行能力に問題がないことを確認しました。

○ 「やまとみらい」への審査講評

- ・代表及び構成団体の他施設における実績を高く評価。
- ・事業内容や運営体制の項目について、4施設全てにおいて高い評価点を獲得。
- ・特に図書館において、運営コンセプトとしている「健康」についての提案を高く評価。
- ・一方、ホール運営では市民を育てる視点を大切にしてほしいという意見と、施設運営のテーマ「融合」を常に意識し、代表団体が統括能力を十分に発揮されることを望む意見を付記。

2. 共同事業体「やまとみらい」の構成団体

団体名	担当施設	実績等
【代表団体】 株式会社 図書館流通センター (TRC)	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館向けの書籍販売、図書館業務の受託において最大手。全国で417(うち指定管理220)館の業務を受託 ・現在、大和市の図書館の運営を受託
サントリーパブリシティサービス 株式会社 (SPS)	芸術文化 ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・国内屈指の音楽ホール、サントリーホールをはじめ、官民の文化施設、公共施設等を運営 ・県内では、鎌倉芸術館、ミューザ川崎シンフォニーホール等を運営
株式会社 小学館集英社プロダクション	生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・教育事業、キャラクターライセンス事業等を展開。多様な公的施設の運営を96施設受託 ・千代田区九段生涯学習館、中央区立社会教育会館等を運営
株式会社 ボーネルンド	屋内 こども広場	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具会社であり、親子で遊べる屋内広場を店舗と併せ展開。県内では、マークイズみなとみらい、テラスモール湘南等 ・近年は自治体とも組み、施設を整備、運営
株式会社 明日香		<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する様々なサービスを展開 ・図書館流通センターの関連会社
横浜ビルシステム 株式会社	施設全体の 維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・総合ビルメンテナンス企業 ・神奈川県民ホール、神奈川芸術劇場等の施設を維持管理

3. 「やまとみらい」による施設運営の特長（企画提案書より抜粋）

○ やまと芸術文化ホール

貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率向上のための、定期利用団体との関係構築、受託チケット販売サービス、興行主催者への積極的な営業等 ・舞台技術は60館超の運営実績を持つ(株)シグマコミュニケーションズに委託
文化芸術事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の認知度を高める1年目に始まり、利用を高め、市民が出会い、協力し、5年目の文化芸術の発信までを目指す5年間のロードマップを策定 ・ホールの存在を知ってもらうための1年目の事業ラインナップ案・・・ウイーン・フォルクス・オーパー交響楽団、中村絃子、錦織健、劇団四季、綾戸智恵、森山良子、Char 等 ・指定管理者として他にも多くの施設を運営していることによるスケールメリットを活かした企画、出演者との価格交渉、日程確保等

市民参加事業	<ul style="list-style-type: none"> ・友の会、メール会員の2つの会員組織。その中で、事業運営に関わってもらうホールサポーターを募集 ・市民対象にアートマネジメント講座を開講。市民レセプション等、受講生の事業運営への参画を企図
--------	---

○ 大和市立図書館

サービス提供のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のいたるところをサービス提供の場とするフロアマネージャー制度の導入 ・レファレンスサービスのスキル向上のための職員勉強会の実施 ・TRC MARC(全国の公共図書館の83%が採用している書誌データベース)メーカーであることを活かし、検索システム「TOOL i」を常時使用できる環境を実現 ・学習室には座席管理システムを活用 ・ヨミダス(読売新聞記事)、日経テレコン(日本経済新聞記事)、医学中央雑誌Web(医学・健康情報)、ナクソミュージックライブラリー(音楽配信)等の有料データベースを大幅に拡充 ・自社にICタグ専用の部署を持ち、400館以上の導入実績あり。
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康図書館としての事業(健康をテーマにした選書による「健康コーナー」/健康・医療情報に精通する司書による「健康レファレンス」/健康に関する情報を集約した「健康サポートブック」/行政や病院との連携による「健康イベント」等) ・大和市「こども読書力向上プラン」を踏まえた児童対象事業(家読推進のための事業/ブックスタート事業の充実/おはなし会及び市内小学校・保育園への出張おはなし会/新刊児童図書の展示会/おすすめ本リストの作成・配布 等) ・ボランティア団体の育成・連携(ボランティア連絡ノートの活用/養成講座 等) ・各種講座、イベント等の事業(まちづくり講座/こども司書認定講座/外国語でのおはなし会 等) ・その他、展示コーナーの運営、学校貸出サービス、職場体験受け入れ等

○ 大和市生涯学習センター

貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金は条例で定める上限額から引き下げて設定 ・市民交流ラウンジに自動入退室システムを導入
生涯学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの公的施設運営を通して蓄積した講座・イベントプログラムの共有データベースを活用 ・生涯各期に合わせた講座(年間のべ120日(回)以上実施)、市民大学(年間5日(回)×3本)、やまと生涯学習ねっとわあくの運用等、生涯学習センターで現在、実施している事業は、ほぼ同規模で引き続き実施 ・子どもを対象にしつつ、内容のレベルを高めに設定した「こども市民大学」を新たに開催
地域活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターまつり、利用者懇談会等を開催。分野別の利用者懇談会や、利用団体を増やすことを目的とした利用者推進説明会等を新たに企画

○ 大和市屋内こども広場

屋内公園事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーネルド社が研究・開発した室内遊び場「キドキド」をベース。子どもの発達段階に合わせ、「こころ・頭・からだ」の成長を、遊びを通して促す設備 ・自動入退室システムを導入 ・公園に配置されたプレイリーダーが、子ども達の遊びを手助けするだけでなく、施設内での安全管理を担当 ・プレイリーダーのほか、ボランティアも配置し、手遊び、体操等をはじめ、様々なイベントを実施
--------	---

保育施設事業	・保育士が常駐する保育室での幼児預かり事業、相談室での育児相談事業のほか、多目的室を使い、子ども向けの工作教室、保護者や保育者向けの講座等を開催
--------	--

○ 4施設共通

総合 インフォメーション	・館内案内、各施設への取り次ぎ、問い合わせ対応、拾得物管理等、文化創造拠点のコンシェルジュを配置
連携事業	・全館挙げてのプロジェクトマッピング、クリスマスフェスティバル等の開催 ・毎年、敬老の日を1日全館イベントデーとし、還暦を迎えた方々を文化創造拠点全体で祝うイベントを開催
情報発信	・文化創造拠点としてのホームページ開設、広報誌発行 ・商店街、FMやまと等、地元・地域との関係構築、連携

○ 自由提案事業

事業内容	・図書館で提供する新聞、音楽配信等のデータベースを館内のどこでも閲覧可能とするためのタブレットPCを100台導入、貸出 ・館内掲示、来館者への情報提供を効果的に行うためのデジタルサイネージを設置 ・館内共通の利用者カードをICカードで制作等
------	--

※ 自由提案事業の費用は指定管理料に含まれていません。事業の効果、費用等を鑑み、今後、その採否を市で検討します。

4. 指定管理料

平成28年度 3億6,000万円（開館年度のため、事業内容を充実するための費用含む）

平成29～32年度 毎年度 7億9,800万円

※ 今回の指定管理期間の光熱水費については、使用量の予測が困難なため市の負担とします。

5. 開館までの流れ

平成27年2月 市議会に指定管理者の指定について議案を上程、議会審議（～3月）

（議案可決された場合↓）

平成27年4月 協定書締結に向けた協議（～6月）

7月 開館準備委託契約

8月 開館準備委託契約（～平成28年3月）

11月 開館一年前イベント開催

12月 指定管理者仮事務所設置（生涯学習センター内を予定・芸術文化ホール予約受付開始）

平成28年4月 開館準備委託契約・2年目（～10月）

7月 竣工後、現場での開館準備、施設移転等（～10月）

11月 開館